

第1回 奈良市地産地消促進計画検討委員会 審議内容と結果（要旨）

■出席委員

石川 敬之（奈良県立大学地域創造学部 准教授） 尾崎 敦士（旬菜ひより 代表）
辰巳 千嘉子（コープ自然派奈良 理事長） 塚本 幾代（奈良女子大学生生活環境学部 教授）
委員：中島 弘子（奈良市北和農村生活研究グループ）

■会長・副会長の選任について

【決定事項】 奈良市地産地消促進計画検討委員会運営要領により、会長に塚本委員、副会長に崎山委員が就任された。

具体的施策の実施内容(1) ー新規農業者の育成・確保についてー

【審議内容】

- ① 新規農業者の育成・確保する対象は、新規就農者から趣味で農に関わっている人まで含めるかどうか。
- ② シルバー世代の力をどう活用するか。

【審議結果】

- ① 新規農業者の育成・確保する対象は、新規就農者から趣味で農に関わっている人まで含める。
- ② シルバー世代の力を活用する。

<主な質問内容>

6次産業・新規就農者・農家の定義、新規就農支援内容について

具体的施策の実施内容(2) ー奈良市産をアピールできる新たな加工品の開発ー

【審議内容】

- ① ブランド戦略も含めて、消費者のニーズをいかに吸い上げて生産者に還元するか。
- ② 商品開発の時点から飲食店での活用を視野に入れるなど、商品開発の進め方について。

【審議結果】

- ① ブランド戦略も含めて、消費者のニーズを吸い上げて生産者に還元する。
- ② 既存の商品の活用、加工施設の活用。

<主な質問内容>

商品開発の主体について

具体的施策の実施内容(3) ー地産地消の市内専用物流システムの構築支援ー

【審議内容】

- ① 既存流通システム活用の可能性について。
- ② 消費者ニーズを調査した上で構築支援を着手する等の構築支援の方法について。

【審議結果】

既存流通システム活用を行う。

□ 具体的施策の実施内容(4) 一直売所の増設支援と広報活動の充実

【審議内容】

- ① 直売所新規増設・リニューアルについて
- ② 商品数（生産量）確保の問題について

【審議結果】 直売所新規増設・リニューアルを含めて適正な直売所の設置目標を示す。

<主な質問内容>

直売所の定義について、直売所増設をした場合の運営主体に関して

□ 具体的施策の実施内容(5) 一生産者等と消費者の交流機会の増加

【審議内容】

- ① 彩マーケットなどの既存イベントの内容・広報充実について。
- ② ミニ直売所の開催回数増加などの充実策について。

【審議結果】

- ① ミニ直売所に関しては、開催回数の増加を目指しているので開催回数へと表記を変更する。
- ② 年 1 回開催の彩マーケットは広報・内容の充実に取り組む。

□ 具体的施策の実施内容(6) 一飲食店・観光施設等における市内産農林畜産物の利用促進と人材育成

【審議内容】 人材育成（市産の農林畜産物の利用促進を提案できる人材）の具体的内容・方法について

【審議結果】 市産の農林畜産物の利用促進を提案できる人材として、大和茶の美味しい入れ方を紹介できる人材育成を図る。

□ 具体的施策の実施内容(7) 一食育の推進

【審議内容①】 奈良市内の学校給食で必要な数量をいかに確保するか。

【審議内容②】 全校統一メニューのメリットデメリット。

【審議結果】 東部地域でのモデル校の実施を経て、様々な主体の協力・連携の下市内の西部地域においても順次実施する。

<主な質問内容>

モデル校から実施する流れに関して

□ 具体的施策の実施内容(8) 一環境の負荷と食料自給率の向上

【審議内容】 奈良市産野菜取扱店の情報集約化の可能性について。

【審議結果】 奈良市産野菜取扱店の情報集約化を行う。

<主な質問内容>

現状の地産地消協力店舗の広報に関して

■ 8つの具体的施策の実施内容についての議論を終えて

・第 1 回の委員会の議論を踏まえて、たたき台の修正を事務局で行う。

・消費者目線どう付与するか。